

若者の金融市場への積極的参加に向けた教育手法の研究

商学部
経営・流通学科
准教授

平川 幹和子 CFP®



研究シーズの紹介

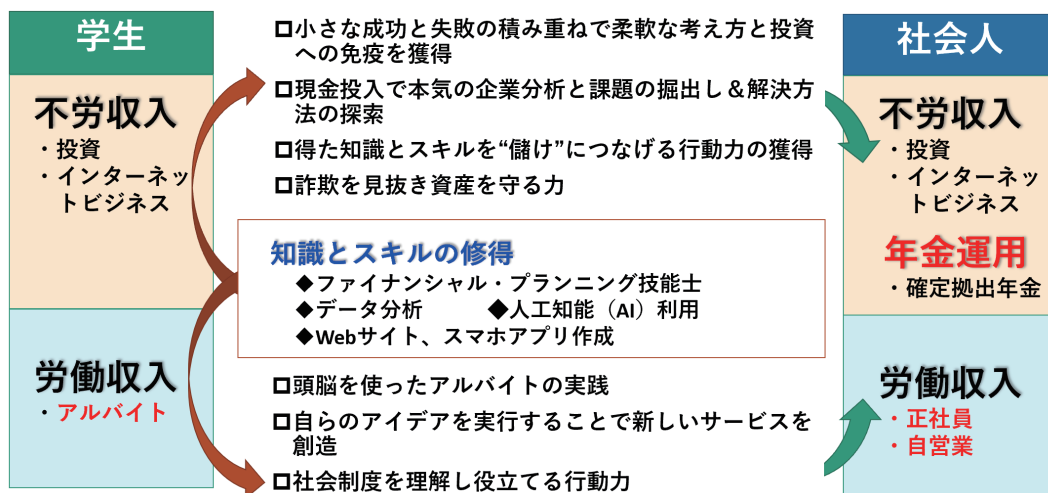
日本は労働収入に重きを置き、平均収入といえば労働収入とイコールになる国ですが、労働による収入が世界から引き離され、今後も伸びが見込めない状況では、国民が労働収入だけに頼る従来のスタイルを変化させなければなりません。そこで本研究では、若者の積極的な証券市場への参加に何が障壁となっているのかを明確にし、必要な制度および効果的な教育の提案を行うことを目的とし、真面目な投資と世界を相手

にしたeコマースの融合を図る投資教育を構築を目指しています。この研究によって、若者が積極投資を行う際の問題点が明らかになり、真面目な投資とeコマースの融合が行われれば、個人が経済成長している各国の財を取り込み、自分の労働収入とあわせることで収入を増加させ、経済的自立が可能となるでしょう。



投資教育とeコマースの融合

- 労働&不労収入の早期確立により安定した生活を設計できます。
- 日本に居ながら世界の富を手にする手段を身につけられます。



期待される活用シーン

- 金融市場に若者を招くにはどうすればいい？
- うちの会社の次に進むべき道はどっち？

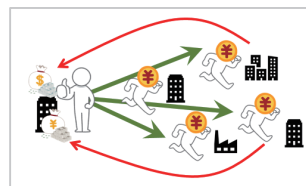


若者が金融市場を敬遠する要因を排除し、10年・20年後を見据えた若者視点の分析で企業を活性化。

- 投資をやってみたくて失敗するのが怖い。
- 余裕をもった楽しい生活を送りたい。



きちんとした知識とスキルを学び、実際に投資をすることで、時を味方につけた資産形成が行えます。



その他の研究テーマ

・インターネットでのビジネス展開に関するICT活用支援に関する研究